

“こすもすくうこう” のその後

こすもす組担任

こすもす組みんなで製作した“こすもすくうこう”。

園まつりが終わっても、飛行機に乗って「沖縄に行ってくるね〜!」「パエリア（機内食）はいかがですか〜?」と盛り上がっていたり、「窓が壊れてるから治さなきゃ!」と修理意欲に燃えていたり、まだまだ遊びは続いていました。

それと同時に、「こすもすくうこう、持って帰りたい!」という声もちらほら聞こえ始めました。するとその声に「ずるい!」という返事が。また、「こんな大きいのも無理でしょ!」という声も。そして「いや、全部じゃないよ。壊してバラバラにしてさ。」「あ〜いいね!自分が作ったところとか、好きなところとかを持って帰ろう!」というやり取りが続きました。“全部なわけないじゃん(笑)!”とつつこみそうになる私をよそに、いたって真剣に、作品の今後について話し合う子供たち。不思議なことに、「壊したくない」「もっと遊んでからにしようよ」という子がおらず、こすもす組は壊して、好きなところを持って帰ることになりました。“みんなで作ること”から、“みんなで分かち合うこと”に、楽しみや喜びが移っていくようでした。

さて、だいぶ解体が進み、部屋の雰囲気がかがらりと変わってきたところで……。

「あ〜バラバラ空港だ……」となんとも言えない表情を浮かべる子供たち。とっても楽しそうに解体し、「今日持って帰ってもいい?!」とウキウキしていたはずなのに、突然の「あ〜もっと遊びたかったな〜……」と衝撃的な一言。「イマサラ!?!?」と動揺する私。「いや〜、ちょっとそう思っちゃっただけ」と、照れ笑いするお友達。この2か月ずっと一緒に暮らしてきた作品が、本当にバラバラになってしまうと、やはり寂しさが芽生えたのでしょうか。すると、あるお友達が「この看板だけとっておこう」「そうだね、こすもすくうこうはなくなっちゃったけど、これ（看板）を見れば思い出せるし。」「そうだね。思い出は残しておこう!」という、なんともあったかいやりとりが繰り広げられました。そして、看板の横に写真を貼って、思い出を残しておくことになりました。

解体中も、「これ、一緒に作ったよね。どうする?」「〇〇君がこの部分で、俺がこっちの部分っていうのは?」「それいいね!切ろう!」と分け合ったり、「これほしいな〜」「でもそれ〇〇ちゃんが作ってたよ。ダメじゃない?」「え?いいよ!私これもあるから♪」とお友達に譲ったり……。争奪戦になるだろうな〜と予想していましたが、子供たちは終始平和に、楽しそうに分かち合っていました。

みんなで頑張った!みんなと作れて楽しかった!その思いで溢れているから……。

クラスの絆の深まりを感じ、とても嬉しくなりました♪

